



足立区立六月中学校

令和2年度
第10号
校長 塚原 洋

「卒業」

本校の第34回卒業式が校庭にて3月19日挙行されました。182名の卒業生が無事に本校を巣立っていきました。本来ならば地域やご来賓の皆様にもご覧頂きたかった所ですが、校庭での実施のため多くの保護者の皆様にご覧いただけたことが、せめてもの救いでした。

保護者の皆様は232名ご参列いただき、卒業生もきっと喜んでいたことでしょう。182名の姿が見えなくなることは寂しくなりますが、新入生を迎える準備を正しく行い、素敵な入学式にしたいと思います。

今回はお聞きいただけなかった式辞の一部を載せてみます。2021年は東日本大震災から10年、そして現在の新型コロナウイルス感染症の影響と何か節目を感じながらも、忘れては行けない「時」ということを感じました。



「式辞」

「182名の卒業生の皆さん。卒業おめでとうございます。卒業にあたり、はなむけの言葉を贈ります。

10年前、2011年3月11日、巨大地震が起こりました。東日本大震災です。

そして現在、日本のみならず世界中で新型コロナウイルス感染症の収束が見えていません。

東日本大震災から10年である今年。新型コロナウイルス感染症による世界的大流行の中での中学校卒業。

そこに何か皆さんに与えられた「使命」というものを私は感じました。

昨年の6月から登校が再開され、「3年生になって」の思いを作文にしました。一部を紹介します。

「3年生という、大事で楽しみだったはずの時期に、新型コロナウイルスの影響であたりまえの生活ができなくなりました。学校に行けなかったり、外に出られなかったりと不自由な生活が続きました。そんな生活が続くような状況になるのは決して良いことではありませんが、私は、この自粛生活がきっかけで多くのことを感じられたと思います。

それは、当たり前のことを当たり前と思わずに感謝を忘れないことです。私が今、学校に来られてこの作文を書いているのも、たくさんの人たちが協力し合い、自分にできることをしてくださったからです。私はこの気持ちを忘れずに、3年生の学校生活を送っていきたいです。

感謝と努力を忘れず、当たり前を当たり前と思わずに学校生活を過ごし、六月中学校の顔という自覚をもって生活していきます。」

別の人はこのようにも書いていました。

「人生で最後の中学校生活なので、家族にもしっかりと感謝をし、結果を出して恩返しをしようと思います。」また、ある人は「コロナウイルスの影響で友達と会う機会がなくなり、学校に毎日行くことが当たり前でないことがわかりました。この時期に学んだことをこれからの生活に生かして、一生懸命頑張っていきたいと思います。」

「感謝」とありました「努力」や「恩返し」「一生懸命」という言葉も含まれていました。

その様子が一番に表れたのは運動競技会でした。自分のクラスの勝利を目指しながらも他のクラスの最終ランナーに温かな拍手を送る姿勢に感動しました。不自由な生活の中で生まれた「感謝」という気持ちと、小さな事にも「努力」し頑張ろうとすること。そして分け隔て無く応援しようとする「優しさ」その姿が表れていました。先ほど「使命」という言葉を話しました。人に優しくする。小さな事にも努力をする。周囲や今あることに感謝する。今、世界で求められている姿だと思います。周囲に対しての思いやりや優しさ、いたわるという気持ちをもっと大きく育て、社会を優しいものにしていく「使命」が皆さんにはあると思います。

新型コロナウイルス感染症があったからこそ気付くことのできた思いや感情、考えたことを忘れず、この教訓を胸に刻み、強く、優しく、たくましく生きていってほしい。

最後になりました。新型コロナウイルス感染症対策のために日々我々の生活を陰で支えてくれている医療従事者の皆様やエッセンシャルワーカーの皆様に感謝するとともに、卒業生並びにご列席の皆様の、ご健康と益々のご発展を心からお祈り申し上げまして、「式辞」とさせていただきます。」

以上のような内容です。きっと卒業生は受け止めてくれていると思います。

さて、卒業式の前に全校生徒朝礼が行われました。全校生徒で集まるのは、今年度になって初めてです。そこで生徒会本部役員の引き継ぎ式が行われ、3年生から在校生へのメッセージが送られました。

読んでみてください。

第34期 生徒会長 時岡美菜子

「私たち第34期生徒会本部は、昨年10月に任期を満了し、1・2年生をメンバーとする第35期生徒会本部が始動しました。今期の生徒会本部では、私たちが目標にしていた募金活動を行ったり、掲示板の内容をさらに充実させたりしてくれてとても頼もしいです。

昨今は新型コロナウイルスの影響で、活動が制限されたり、今までできていたことが急に中止になったりと大変だと思います。ですが、いつどんなことが起こるか分からないからこそ、今できること、今したいことにどんどん挑戦していきましょう。

また、私たちの代で目指していたたわり活動やボランティア活動、今までも盛んだった赤十字の活動も引き継いでいってくると嬉しいです。皆さんの積極的な活動で、きっと六月中学校はもっと過ごしやすくて楽しい、生徒や先生、地域の方々など皆から愛される学校になります。

最後に、先生方、そして生徒の皆さん、私たち第34期生徒会の活動を支えて下さり、本当にありがとうございました。そしてこれからも生徒会の活動にご協力よろしくお願いします。

次の六月中学校をつくっていくのは、1・2年生の皆さんです。全員が生徒会の一員として、色々なことにチャレンジして、新たな流れをたくさん作りだしていきましょう。3年生一同、応援しています！」



第35期 生徒会長 中島聖菜

私たち生徒会役員を含めた全校生徒は先輩方から様々なことを学びました。生徒会に入って間もない頃、活動内容などが全く分からなく、何も知らない私たちに沢山のことを教えてくださいありがとうございました。先輩方から教わった沢山のことを今の生徒会活動で役立てることができています。

また、私たちだけではできなかったことも先輩方の協力や様々な案を提案して下さったお陰でできたこともありました。これからも先輩方に優しく丁寧に教えていただいたことを生かし、生徒会活動をさらに発展させていきたいと思っています。

また、生徒会活動をしていて、大変だなと思ったこともあったけれど、先輩方と一緒に活動しているうちに自然と楽しいと思いつながりながら活動することができました。優しく尊敬できる先輩方と活動できて幸せでとてもよかったなと思っています。

最後になりますが、このような場を借りて感謝の気持ちを伝えることができてよかったです。先輩方がいた時のような生徒会を一人で再現することは不可能ですが、現生徒会、また全六月中生の皆さんとさらに発展した活動を行っていけるよう頑張ります。

一年間半という長いようでとても短い時間でしたがとても良い経験をすることができました。

一年間半、本当にありがとうございました。

先輩方から頂いた言葉を胸に、これからは私たちが六月中学校をさらに良い学校へとしていきます。ありがとうございました。

六月中学校が創立された時に国語科として勤務されていた千葉俊治先生が教科指導専門員として勤務されていました。この様子をご覧頂き次のようなコメントを頂きましたのでご紹介します。

生徒会朝礼は、整列、朝礼中の集中と姿勢、内容（特に「三気三動」の解説と引き継ぎ、活動の振り返り、3年時岡さんの挨拶や中島さんのお礼など）、コロナによるブランクを感じさせない、活動の裏付けと執行部の立派な姿勢に心打たれました。

創立時を知っている者にとって、初代校長の「三気」や初代会長須藤君（私のクラス）たちの思いが、受け継がれてきていることが重く感じられ、胸が熱くなった次第です。ありがとうございました。

今年度を振り返り学年主任より

1 年学年主任 真辺草平

2024年から一万円札の人物が渋沢栄一という人にかわります。明治時代に約500の会社をつくり、約600の社会公共事業に関わったとされ、誠実で、人のために尽くした人物です。その渋沢栄一が大事にした言葉の中に

「智・情・意」というものがあります。

「智」とは知識。「情」とは感情。「意」とは意志です。

学校生活を送る生徒にとっては、「学力」「思いやり」「やる気」ととらえることができるでしょう。また、その三つの中で人生を豊かにするためには「情」が大事だということです。

人と関わることに制約が課され、行事や集会が少ない一年でしたが、逆に人を大事にした一年だったとも思います。生徒達は、時に失敗もしましたが、例年以上に大きく心を育て、仲間と楽しく笑顔で生活できました。その優しい心をいつまでも大切にしてください。

長くなりましたが、最後に、「智」の部分。勉強も頑張りましょう。



2 学年主任 石橋敬子



「人は大きな達成感が得られると新しい目標に向かって気持ちを切り替え、更なる努力が出来る」と、ある番組で言っていました。振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症拡大により、6月の分散登校から新学年が始まり、2学年の学校行事はほとんど中止となってしまいました。運動会、上級学校訪問、職場体験、六月祭、東京探検等、自分達の手で頑張れたと実感出来る行事が無くなってしまったことがとても残念でした。

そんな中で、2年生は学級活動や道徳、総合的な学習の時間で心を耕してきました。ワークシートには「自分自身を大切に、他者にも思いやりの心をもって接する」という感想が多く見られました。己を省みて、しっかり考えられている心の成長を嬉しく思いました。

来年度は最上級生です。一日一日を有意義なものとし、夢の実現に向け努力を重ねていきましょう。君達の可能性は無限大だと思います。

1 年間を振り返って「Boy is be ambitious! (少年よ大志を抱け)」

3 学年主任 小針伸行

この1年間は、本当に特別な1年間でした。6月22日(月)からの一斉登校。2月の緊急事態宣言を受けての2月28日の突然の休校のお知らせ。3月は学年招集日という聞き慣れない言葉が、保護者に配信メールが送られ、週に1回の招集日に登校。4月、新3年生として登校する日は、新入生・在校生の机の入れ替え作業でした。汗をたくさんかきながら、机イスを上階に運んだり、下階に運んだり、六月中学校の校舎の作りを上手く活用して、効率よく作業を済ませたところを見て、六月中学校の先生方は「さすが3年生だな」ときっと思ったに違いありません。同時に「この3学年は力のある学年だ」と心密かに思ったものです。素晴らしかったです。

数々の行事がコロナ禍で削減されていく中で、唯一行われた運動競技会。この行事の取り組みには、目を見張るものがありました。「誰もクラスの仲間を責めない。みんなで楽しもう」そんなメッセージが5クラス全てに見えていました。

そして、この行事に感謝をする気持ちがたくさん見られたことです。改めてこの3学年は「力がある」こんなに思いやりの心をもつ仲間が集う集団なんだと自信がもてました。

あれからもう数ヶ月。進路に向けてたくさん努力もしました。合格も決めてきました。3月15日(月)に行われた生徒会朝礼では、後輩たちに、先輩としての姿を示せたとともに、「3気」の伝統を立派に引き継ぐものでした。

この1年、自己実現に向けて本当によく頑張ったと思います。「Boy is be ambitious! (少年よ大志を抱け)」。君たちの活躍を3学年教員一同心から応援しています。

そして最後に、保護者の皆様3年間ご協力ありがとうございました。

本年度最後のコミュニティスクール学校運営協議会 と開かれた学校づくり協議会開催

今年度は学校を公開することができずに保護者の皆様と協議会委員の皆様にはご心配とご迷惑をおかけしました。

新型コロナウイルス感染症が終息をし早く通常の学校生活
が戻ることを祈るばかりです。今年度の振り返りを各主任

から報告させて
頂きました。来
年度もよろしく
お願いします。



芦川一男協議会長の挨拶と区教育委員会からの挨拶、校長挨拶
と続きました。

最後は各委員からのお話を頂くことができました。皆様六月
中学校のことで生徒のことを本当に心から大切に思ってくれてい
ることが、分かりました。次年度もよろしくお願いします。

朝のあいさつ運動



開かれた学校作り協議会委員の皆様と生徒合同のあいさつ運動を実施しました。ありがとうございました。

～引き続きご協力をお願い～ 新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。

春季休業中も家を出る前の手洗いや帰宅後の手洗い、消毒などお子様へのお声かけをお願いします。生活指導部から出ているプリントを確認し、規則正しい生活を進めるようお声かけをお願いします。

部活動など登校時には清潔なハンカチやハンドタオル、ティッシュペーパーを持たせ、マスクの正しい着用の徹底など、引き続きご協力ください。感染症対策においてはご家庭の協力がなくては成り立ちません。

中学生はワクチン接種対象外です。子供たちの生活を守るためには、生徒自身に注意させると共にご家庭の協力が必要不可欠です。今一度、下記をお読みいただき、必要なときには必ずご連絡ください。

1 ご家庭での確認

(1) 健康チェック

- ① 毎朝のお子様の検温をおこない、ご家族も検温するなど健康観察を徹底してください。
- ② 部活動参加の際も健康チェック表は必要です。
- ③ 発熱や咳が出るなど風邪症状がある場合には登校を控えていただければと思います。
- ④ 土日に体調を崩した場合などもヘルスチェック表に記入させてください。

2 学校への連絡

次の場合には学校に速やかにご連絡ください。

- ① お子様に発熱や風邪症状がある。
 - ② ご家族がPCR検査を受け、お子様が濃厚接触者として特定された。
 - ③ お子様がPCR検査を受ける。
 - ④ お子様が海外から帰国や入国した。
 - ⑤ お子様のPCR検査が判明した。
 - ⑥ ご家族が風邪症状、濃厚接触者、PCR検査を受ける、海外から帰国、入国した。
- ※⑥の場合はお子様の登校に制限はありませんが、ご連絡いただくと助かります。